

## 令和2年度 第2回安城市青少年健全育成連絡協議会 議事録

日 時 令和2年12月10日（木）午後3時～午後4時5分

場 所 安城市青少年の家 視聴覚室

出席者 会長 神谷勝広委員

副会長 三井信子委員

書記 山田真仁委員

委員 朝日洋平委員（安城警察署警部補）

木村直人委員、鳥居こずえ委員、松田恵委員、榊原守委員

（以上、主任児童委員）

藤原絵里委員、平岩芳延委員、石川健一委員、石原照彦委員、

畔柳正志委員、中野幹尾委員、岩月正和委員

（以上、育成協議会長）

和田真一委員、宮本功行委員、金丸和章委員、仙藤恵子委員、

川出功辞委員、長澤啓介委員、早川崇之委員

（以上中学校区生徒指導主事）

事務局 宮川守（生涯学習部長）、原田敬章（生涯学習課長）、

細井紀世彦（青少年愛護センター所長）、

岡田有峰（青少年愛護センター指導係長）、

橋本美香子（青少年愛護センター主事補）

### 次第

1 あいさつ

2 協議事項

青少年健全育成の功労者及び優良青少年の選定について ⇒ 承認

3 青少年健全育成顕彰被顕彰者の表彰について

4 情報交換

5 ご指導

6 その他

## 議事概要

### 2 協議事項 青少年健全育成の功労者及び優良青少年の選定について

会 長	<p>協議事項「青少年健全育成の功労者育成者及び優良青少年の選定」を議題とします。これは、安城市青少年健全育成顕彰要綱に基づき、各小・中学生並びに各中学校区の健全育成協議会から推薦された方々を審議していただくものです。</p> <p>児童・生徒については生徒指導主事様から、指導育成者については推薦いただいた協議会長様から、少年団体指導育成者については事務局から、それぞれ説明をお願いします。</p>
各中学校区 生徒指導主事	(児童・生徒の顕彰事項を説明)
各健全育成 協議会長	(指導育成者の顕彰事項を説明)
事務局	(少年団体指導育成者の顕彰事項を説明)
会長	<p>不明な点、疑問点などがありましたら質問をお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p>
会長	<p>特に無いようですので、協議事項「青少年健全育成の功労者育成者及び優良青少年の選定」については、ただ今ご説明いただいたとおり表彰者を決定してよろしいでしょうか。ご承認いただける方は拍手をお願いします。</p> <p>(拍手)</p>
会長	ありがとうございました。拍手多数により承認されました。

### 3 青少年健全育成顕彰被顕彰者の表彰について

青少年愛護センター所長	ただ今承認された被顕彰者につきましては、令和3年1月23日に文化センターで開催されます、青少年健全育成顕彰被顕彰者表彰式にて表彰が行われます。
-------------	---

### 4 情報交換

青少年愛護センター所長	本日までご出席いただきました皆様から、最近の学校や地域での活動、子どもたちの様子などをお話しいただければと思います。
安城南中学校	<p>学校全体として不登校生徒の発生状況を問題視している。30日以上欠席している不登校生徒がたくさんいる。その中には数カ月にわたり姿を見ることができていない生徒もいる。関係機関とも連携して対応している。</p> <p>交通事故も発生した。歩行者対自転車の事故が多く、校内放送等で生徒に注意喚起している。</p> <p>SNSに関するトラブルは、生徒同士の誹謗中傷やなりすまし等が発生した。こうした状況を受け、スマホ教室やネットモラルに関する授業を行っている。</p> <p>また、PTAや民生委員の方にご協力いただき、あいさつ運動を実施した。地域にひらかれた学校を目指して活動している。</p>
安城北中学校	<p>不登校がいるが、教員だけでなく、さまざまな立場の人が関わることで良い方向へ向かうこともあるため、今後も連携していきたい。教員から見ると普通に過ごしていた生徒が、突然学校に来られなくなることがある。突然のことではなく、生徒本人の中では積もり積もったことだったのだろうと思う。普段から生徒の様子に気を付けて見守っていく。</p> <p>1学期は新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの行事が開催できなかった。2学期からは感染対策をしながら開催できている。</p>

<p>明祥中学校</p>	<p>不登校生徒はいるが、担任をはじめ、さまざまな立場の教員や関係機関から生徒にはたらきかけている。いじめも発生したが、発覚した時点ですぐに指導をしている。また、嫌な思いをしている生徒がいないか、普段からしっかり様子を見ている。</p>
<p>安城西中学校</p>	<p>「挨拶・歌・黙働清掃」を「西中ブランド」として掲げているが、新型コロナウイルスの影響で声を出す活動が制限され、挨拶と歌は例年のように実行できなかった。</p> <p>30日以上欠席が続いている生徒や欠席日数が30日に達しそうな生徒が多数いる。なお今年度は、発熱等の体調不良はコロナ対応として出席停止としているため、その影響で長期欠席状態となっている生徒もいる。</p> <p>今年度は死亡事故が発生した。生徒が学区の危険個所を洗い出す「ヒヤリハット」を実施したが、まだ西中生同士の事故や自損事故が発生している。</p>
<p>桜井中学校</p>	<p>生徒は、新しい生活様式の中で今できることを考え、工夫を凝らして前向きに過ごしている。</p> <p>SNS上のトラブルが発生しており、学年ごとにケータイ安全教室を開催した。</p> <p>不登校生徒はいるが、地域の方や関係機関にもご協力をいただいております、連絡が全く取れていない生徒はいない。</p> <p>交通事故も発生していない。自転車の並走等をする生徒はいるが、地域の方が登下校ルートに立ち、指導してくださっている。</p>
<p>東山中学校</p>	<p>「人を大切にする学校」というテーマを掲げて2年目になる。保健委員会が企画した、毎週水曜日に学級内でテーマについて話し合う「東山タイム」を実施するなど、生徒同士の関わり合</p>

	<p>いを大切にしている。また、教員同士の情報共有・連携も重要視している。</p> <p>交通事故は発生しておらず、地域の方の声掛けにより生徒のマナーも良くなってきている。</p> <p>悪口を言われた等のいじめに該当する事案がした。いじめアンケートや、年に1回担任との面談も実施している。</p> <p>不登校生徒はいるが、中にはふれあい学級に通ったり、夕方登校等で登校できている生徒もいる。これまで一度も登校できなかった生徒が、教員との日記のやり取りをするうちに「学校に行ってみよう」という思いが芽生え、保護者と一緒に夕方に登校することができたという事例があった。一度も顔を見ることができなかった生徒は今のところいない。</p>
安祥中学校	<p>大きな交通事故は発生していない。不登校生徒の数も減少している。中には一度も姿を見ることができていない生徒もいるが、徐々に改善している生徒もいる。皆それぞれのペースで頑張っている様子。</p> <p>学校の雰囲気はおだやかである。体育大会・合唱コンクール・修学旅行等の行事は規模を縮小したが、生徒達も一緒に、皆で相談しながら内容を企画した。</p>
篠目中学校	<p>不登校生徒はいるが、夕方登校をしている生徒もおり、いろいろな立場の方に関わっていただいている。</p> <p>地域の方から通学路違反の指摘があった。学区が知立市との境目にあり、ショートカットのために知立市に係る道を通ってしまう生徒がいるようだ。</p>
東山中学校区 協議会長	<p>コロナ禍で学校行事になかなか参加できていない状況。子どもたちは、エネルギーを発散できていないのでは。また、子どもの発するシグナルがさらに見にくい状況にあるのでは、と懸念</p>

東山地区民協 主任児童委員	<p>している。</p> <p>休校期間が長期にわたったが、それまでなかなか学校に来ることができなかった生徒が急に登校できるようになった事例を聞いた。環境が変わったことにより、これまでののはたらきかけが突然効果を出すこともあるのでは。今後も学校と意見交換しながら、活動を続けていきたい。</p> <p>安城市では、横断歩道の一旦停止や歩行者優先等、運転者のマナーとして「おもいやり運転」を広めている。ちなみに、横断歩道で一旦停止をする運転者の割合は、全国平均で20%とのこと。県別に見ると、最も高い割合なのは長野県の70%だが、そもそも割合が5割を超えている県は3県しかないとのこと。愛知県は30%、つまり7割の車は横断歩道で一旦停止をしないということである。この結果から見ると、横断歩道は決して安全ではないと思える。子どもたちにも、日頃から「右・左・右確認」等を徹底させ、交通事故を無くしたい。</p> <p>コロナ禍の影響で虐待が増えていると聞いた。都市部では、家にいる時間が増えたためか、夫婦喧嘩等大人の苛立ちの原因が増え、子どもに手をあげてしまう事例があるとのこと。安城市ではこうした事例は増えていないようだが、未然に防ぐことを考え、地域の目を強化することが大事では。</p> <p>主任児童委員の活動として、小学校や公民館で親子竹細工づくりの指導を行っている。親子で参加していただき、コミュニケーションのきっかけになればと思う。コロナ禍の影響で何件か中止になったが、先日三河安城小学校で感染対策を行ったうえで実施したところ、先生方から「子どもたちに最近なかった笑顔を見ることができた」と言ってもらえた。こういった状況ではあるが、子どもたちのために大人が、可能性を信じて積極的に活動していくことが大切だと思った。</p>
------------------	--

## 5 ご指導

青少年愛護センター所長	安城警察署の朝日様、今までの情報交換をお聞きになって、何かご意見、また最近の青少年に関する犯罪の情勢についてのご報告等がありましたらお願いします。
安城警察署	<p>3月の青少年の補導件数が、例年に比べて多かった。深夜にコンビニや公園でたむろする等の事例が多く、コロナ禍と春休みが重なったことによる羽伸ばしかと思われる。</p> <p>SNSトラブルによる被害について、保護者から相談を受けた。友人同士の悪口や誹謗中傷、仲間外れをされた等の相談から、SNSで出会った友達とのトラブルについても相談があった。特に、知らない相手から金銭の要求や、裸の写真等児童ポルノの提供を強要される等の事例も聞いている。青少年はまだ自分自身で事の善悪がつけられず、大きなトラブルに発展することもあるため、適宜指導をお願いしたい。</p> <p>薬物について、安城警察署管内の在住者ではないが、青少年が安城市で検挙された事例があった。また、知多半島では未成年グループが大麻の使用で摘発された。このように、最近大麻等の取り締まり被疑者において、若年化がみられる。特に、ある私立大学では部活動で大麻の使用が蔓延し検挙されるなど、大学生の大麻使用が目立つ。警察では、薬物乱用防止講話の講師派遣を実施している。先生方からも引き続き指導をお願いしたい。</p> <p>児童虐待についての話題が先程もあったが、家族で過ごす時間が増えることにより親子間のトラブル等も増加している。子どもが勉強をしていなかったり、スマートフォンばかり見ていたりすると保護者は逐一気になってしまい、親が怒れば子どもも怒り、家庭内暴力へと発展してしまうこともある。先生方には、学校で生徒の虐待兆候をよく見ていていただきたい。</p> <p>安城警察署管内での交通事故について、死亡事故が5件発生し</p>

	<p>た。うち1件は、市内中学校の生徒がトラックにはねられた事案だった。交通事故は、直前まで元気だった人の命が一瞬にして奪われてしまう、非常に悲しいこと。関係機関で連携し、なるべく交通事故を防いでいきたい。</p>
--	---